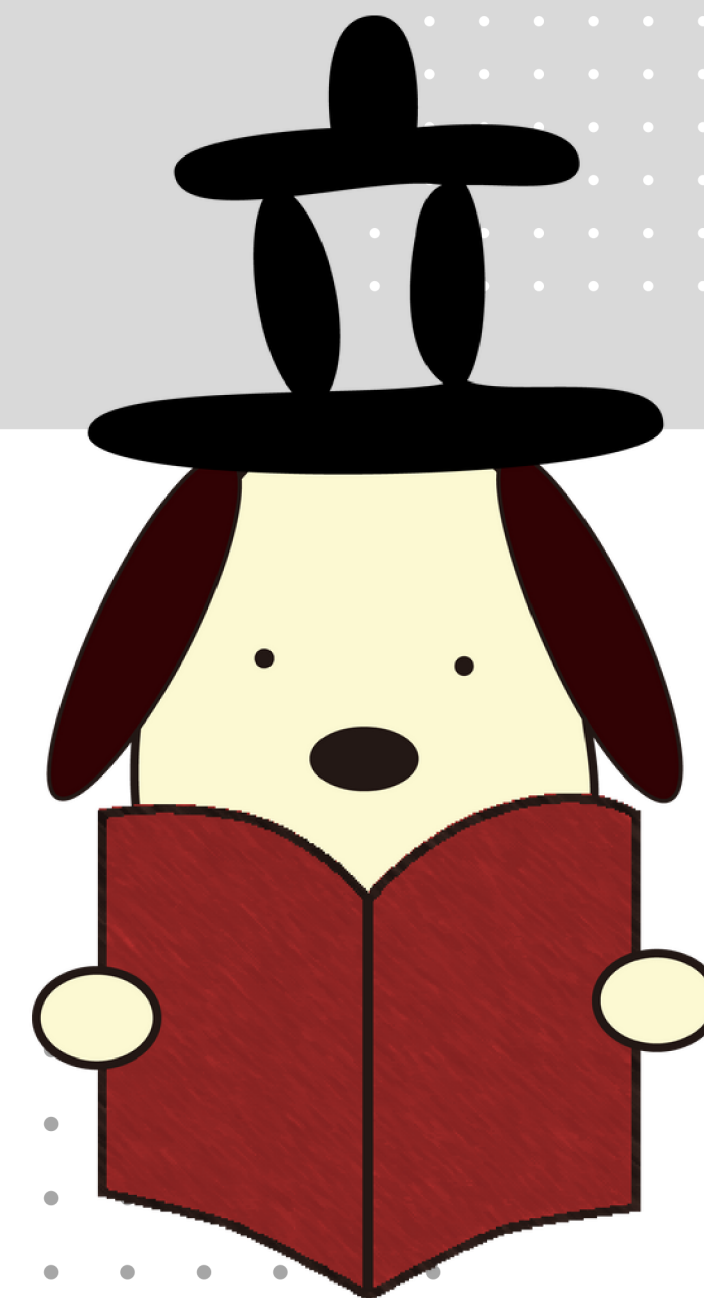


大学図書館とマンガ



立命館大学図書館研究会（りつとけん）

団体紹介

立命館大学図書館研究会（りつとけん）は、文学部の自主ゼミナールとして設立されました。現在、34名が所属しています。活動は週2回、立命館大学の衣笠キャンパスにある司書課程共同研究室で行っています。今年度は、通常活動として、出題された主題に合わせて分類番号をあてる「分類番号カルタ」・司書試験や情報技術者検定の勉強会を、また特別活動として、図書館見学会や特別講師による授業など、幅広い活動を行っています。



研究に至った経緯

2022年5月末、京都国際マンガミュージアムの見学会を行いました。

その見学会を通して、メンバー内でマンガの資料価値についての興味関心が高まりました。

そこで、今回の総合展出展に際し、学生である私たちにとって身近である大学図書館において、マンガはどのように扱われているのかについて研究を行う運びとなりました。



研究内容

1 大学図書館の比較 (pp.5-68)

複数の大学図書館を対象に、マンガの収集基準をはじめとした四つの項目について調査を行い、比較・考察を行いました。

2 立命館大学図書館職員さんへの質問 (別ファイル pp.1-13)

①を受けて、立命館大学図書館職員の方に本学図書館におけるマンガ収集についていくつか質問をさせていただきました。



1

大学図書館の比較



調査対象

対象：全国の私立大学図書館 立命館大学図書館を含む図書館費上位8位

01. 慶応義塾大学 (pp.10-15)

02. 日本大学 (pp.16-24)

03. 早稲田大学 (pp.25-33)

04. 同志社大学 (pp.34-41)

05. 明治大学 (pp.42-48)

06. 立命館大学 (pp.49-55)

07. 中央大学 (pp.56-60)

08. 関西学院大学 (pp.61-65)

調査対象

対象の選定理由：調査の主眼として、所蔵されているマンガ資料とそれから導かれる大学図書館ごとの特色を明らかにすることを目指しました。その際、予算の点で立命館大学と規模が近いと考えられるとして、私立大学図書館を対象を絞りました。

参考にした調査：大学図書館ランキング-図書館費（注）

（『AERAMOOK2023 大学ランキング』朝日新聞出版, 2023, p. 221）

（注）図書館費とは、資料総額とその他の図書館経費を足して算出したもの。また、対象はアンケートに回答のあった全国の国公私立大学737校（同上、p. 216）。



調査項目

- ①マンガの収集基準
- ②所蔵されているマンガ
- ③所蔵されている資料の特徴
- ④分館、キャンパス、学部の違いに伴う資料の特徴

調査項目

項目の選定理由：大学図書館とマンガの関係について考察するために、①と②（注1）を複数の大学図書館で比較しました。その基準はさまざまであったため、③と④を考察することで、それぞれの大学図書館ごとの特色を明らかにするよう試みました。

検索の条件：②の検索方法については、(1)マンガ資料の分類記号726.1（注2）、(2)「漫画」というキーワードで検索するというもので統一しました。その中で、③、④の考察の指標となるマンガ資料をスライドに記載しています。

（注1）マンガ資料についてはタイトルと著者のみ表記し、出版社・出版年等は割愛する。

（注2）(1)の分類記号は各大学で採用されている最新のNDC版のものに倣う。

01. 慶応義塾大学

①マンガの収集基準

I. 日吉キャンパス → マンガに関する記載なし

(慶応義塾大学メディアセンター「日吉図書館の学生用図書収集方針」
<<https://www.lib.keio.ac.jp/hiyoshi/about/cdpolicy.html>> (2022年11月11日閲覧))

II. 湘南藤沢キャンパス → マンガに関する記載なし

(慶応義塾大学メディアセンター「慶応義塾大学湘南藤沢メディアセンター蔵書構築方針」
<<https://www.lib.keio.ac.jp/sfc/about/cdpolicy.html>> (2022年11月11日閲覧))

III. 信濃町キャンパス → マンガに関する記載なし

(慶応義塾大学メディアセンター「慶応義塾大学信濃町メディアセンター図書選書・収書方針」
<<https://www.lib.keio.ac.jp/services/files/order/zasshi-sensho.pdf>> (2022年11月11日閲覧))

IV. 三田キャンパス → 収集基準なし (2022年11月4日時点)

V. 芝共立キャンパス → 収集基準なし (2022年11月4日時点)

01. 慶応義塾大学

②所蔵されているマンガ

1. 日吉キャンパス

『マンガでわかる日本文学』 あんの秀子

『寄生獣』 岩明均

『ドラえもん』 藤子・F・不二雄

『あしたのジョー』 高森朝雄原作、ちばてつや作画

『残酷な神が支配する』 萩尾望都

『鉄腕アトム』 『ブツダ』 『ジャングル大帝』 手塚治虫

01. 慶応義塾大学

II. 湘南藤沢キャンパス

『学研まんがNEW世界の歴史シリーズ』

『学研まんがNEW日本の歴史シリーズ』

『マンガでざっくり学ぶプログラミング』 たにくちまこと

『うみべのまち：佐々木マキのマンガ1967-81』 佐々木マキ

『ゴールデンカムイ』 野田サトル

III. 信濃町キャンパス

『可愛い嘘のカワウソ』 Lommy

01. 慶応義塾大学

Ⅳ. 三田キャンパス

具体的な作品の所蔵は見当たらず → 漫画の作品研究や関連書籍は所蔵アリ

Ⅴ. 芝共立キャンパス

『アンサンングシンデレラ：病院薬剤師葵みどり』 荒井ママレ

『はたらく細胞』 清水茜

01. 慶応義塾大学

③所蔵されている資料の特徴

- ・ 学術的にも研究対象、あるいは学部の学びと関連性があると考えられる作品の所蔵あり

文学部所属キャンパス → 手塚治虫、藤子・F・不二雄作品など

薬学部所蔵キャンパス → 『アンサンングシンデレラ』 『はたらく細胞』

- ・ 手塚治虫作品は全集ではなく、各作品ごとに収集
- ・ 所蔵の大半は日吉メディアセンターと藤沢メディアセンターによる

01. 慶応義塾大学

④分館、キャンパス、学部の違いに伴う資料の特徴

I. 日吉キャンパス（学部：文・医・薬・経済・法・商・理工）

→ 学術的にも研究対象と考えられる歴史的な作品中心

II. 湘南藤沢キャンパス（総合政策・環境情報・看護医療）

→ キャンパス内の学部の理念に基づいた資料中心

III. 信濃町キャンパス（医・看護医療）

→ 極少数の所蔵、ほとんどなし

IV. 三田キャンパス（文・経済・法・商）

→ マンガ所蔵は見当たらない

V. 芝共立キャンパス（薬）

→ 学部の学びに関連すると思われる作品の所蔵あり

02. 日本大学

①マンガの収集基準

→公開されていない

日本大学は図書館が学部ごとに分かれており、全館を統合するサイトなども見つからなかった

そのため、学部ごとの図書館で収集基準が設定されている可能性がある

しかし、その基準は公開されていない

02. 日本大学

②具体的な資料名 (NDLC10:726.1)

I. 法学部

『改憲対護憲』 森哲郎

『流血の安保闘争』 森哲郎

『自由と権利の闘い』 森哲郎

II. 文理学部

『華麗的壯遊』 AKRU等

『特別的日子：節慶祭典』 AKRU等 →他、台湾の漫画

『有名すぎる文学作品をだいたい10ページくらいの漫画で読む。』 ドリヤス工場

『かっぱのねね子：この史代小品集』 この史代

『のらくろ伍長』 田河水泡 →のらくろシリーズ所蔵多数

『三毛新生記』 张乐平作 他、中国の漫画多数。

III. 経済学部

『この世界の片隅に』
こうの史代
『有名すぎる文学作品
をだいたい10ページく
らいの漫画で読む。』
ドリヤス工場

IV. 商学部

『もっと、やめてみた』
わたなべ ぽん
『漫画 坊ちゃん』
近藤浩一路
『葬送と序章』 森哲郎
『流血の安保闘争』 森哲郎

V. 芸術学部

『ドラえもん』
藤子・F・不二雄
『五等分の花嫁』 春場ねぎ
『妻、小学生になる』 村田椰融
『進撃の巨人』 諫山創
『セトウツミ』 此元和津也
『放課後カルテ』 日生マユ
『帝一の國』 古屋兎丸
『夜明けの図書館』 埜納夕オ
『鋼の錬金術師』 荒川弘

02. 日本大学

VI. 国際関係学部

『画本三国志』
陣舜臣
『関東大震災～満州事
変』
水木しげる

VII. 危機管理学部、 スポーツ科学部

『きょうも京都で京づく
し：地元の遊び方とおいし
いもん』 てらいまき
『リアル』 井上雄彦
『はたらく細胞』 清水茜
『ハイキュー!!!』
古舘春一
『大奥』 よしながふみ

VIII. 生産工学部

『はたらく細胞：バイリン
ガル版デラックス』 清水茜
『「三国志」大百科』 横山
光輝
『新理系の人々』 よしたに
『君の名は。:バイリンガル
版』 新海誠
『ホットロード』 紡木たく
『耳をすませば』 柊あおい

02. 日本大学

X. 三軒茶屋キャンパス分館（危機管理学部、スポーツ科学部）

『きらきらひかる』
郷田マモラ
『リアル』井上雄彦
『ベイビーステップ』勝木光
『花ざかりの君たちへ』中条比沙也

X. 理工学部

『数学であそぼ。』
絹田村子
『もやしもん』石川雅之
『宇宙兄弟』小山宙哉

XI. 工学部

『ブツダ1巻-8巻』
手塚治虫
『スヌーピーたちの心の相談室1-3』谷川俊太郎
『ダーリンの頭ン中：英語と語学』小栗左多里

02. 日本大学

XII. 医学部

『家でのこと：訪問看護で出会う13の珠玉の物語：まんが』 高橋恵子

『ナースは誰を愛してる？ / 内田春菊著 = WOC Who do nurses love?』 内田春菊

XIII. 歯学部

『アイスランド☆TRIP：神秘の絶景に会いに行く!』 てらいまき

『漫画君たちはどう生きるか』 吉野源三郎原作、羽賀翔一漫画

『きらきらひかる：浪速美人監察医物語』 郷田マモラ

『今どきの若いモンは』 吉谷光平

02. 日本大学

XIV. 生物資源科学部

『東のエデン』 神山健治

『動物とお医者さん』 佐々木倫子

『あの日の青空』 吉田秋生

『銀の匙』 荒川弘

XV. 薬学部

『LGBTだけじゃ、ない！性別のハナシ』 新井祥

『若旅WAKATABI：週末歴さんぽ』 高枝景水

02. 日本大学

③所蔵されている資料の特徴

- ・日本大学全キャンパスにおけるマンガの所蔵数が、他大学に比べ多い
- ・「マンガでわかる」シリーズなど、各学部の専門領域に合わせた学術的内容の所蔵が多数ある
- ・過去のものから近年の話題作までジャンルや年代が様々なエンタメマンガを所蔵している

02. 日本大学

④分館、キャンパス、学部の違いに伴う資料の特徴

- ・芸術学部や危機管理学部、スポーツ科学部はエンタメ系のマンガの所蔵が多い
- ・生物資源科学部の『はたらく細胞』などその学部に関連したマンガの所蔵もある
- ・生産工学部は英語版のジャンプ系のマンガが多い
- ・文理学部には台湾マンガの所蔵がいくつかある

03. 早稲田大学

①マンガの収集基準

中央：次の資料は原則として収集しません。

・マンガ

（早稲田大学図書館「選書基準について」

〈<https://www.waseda.jp/library/libraries/central/>〉（2022年11月13日閲覧））

戸山：マンガに関する記載なし（同上）

所沢・理工学・高田早苗図書館：収集基準は非公開（同上）

03. 早稲田大学

②所蔵されている資料の特徴

┆ 中央・キャンパス図書館

(1)中央図書館

〈 早稲田キャンパス（経済、法、教育、商、社会科学、国際教養学部） 〉

文庫：『1968〈3〉漫画』四方田犬彦編 ＊“1968”文化、文学に続く第三卷
：『漫画坊ちゃん』近藤浩一路漫画、夏目漱石原作

外国漫画：『方成全集』方成 ＊中国語図書コーナーに配架

03. 早稲田大学

外国語訳：『Nausicaä de la vallée du vent.』 宮崎駿

＊『風の谷のナウシカ』のフランス語版

漫画：『赤瀬川原平漫画大全』 赤瀬川原平

：『はちみつ色のユン』 JUNG

＊第17回メディア芸術祭にて大賞を受賞した作品の原作

：『博論日記』 ティファンヌ・リヴィエール

＊文系院生のバンド・デシネ（フランスの漫画）

03. 早稲田大学

(2)所沢図書館 〈 所沢キャンパス (人間科学、スポーツ科学部) 〉

ちくま文庫：『おそ松くんベスト・セレクション』 赤塚不二夫

漫画：『HSPの歩き方』 おがたちえ *人間科学関連本か

03. 早稲田大学

(3)戸山図書館 〈 戸山キャンパス (文化構想、文学部) 〉

文庫：『夢十夜』 近藤ようこ漫画、夏目漱石原作

：『SFマンガ傑作選』 福井健太編

：『じゃりん子チエ』 はるき悦巳

：『ばるぼら』 手塚治虫

漫画家個人の全集・作品集・名作集

：『藤子・F・不二雄大全集』 藤子・F・不二雄

：『谷口ジローコレクション』 谷口ジロー

：『完全版ピーナッツ全集』 チャールズ・M.シュルツ

03. 早稲田大学

完全版：『ななこSOS：完全版』 吾妻ひでお

：『ポーの一族：プレミアムエディション』 萩尾望都

*フラワーズプレミアムシリーズ

【外国作品】

・グラフィックノベル：『マッドジャーマンズ：ドイツ移民問題』

ビルギット・ヴァイエ

*コミックに比べて大人向けの外国漫画

・漫画化作品：『客：バンド・デシネ』

ジャック・フェランデズ漫画、アルベール・カミュ原作

03. 早稲田大学

II. 学生読書室

(1) 李健熙（イゴンヒ）記念図書室（政治経済学術院学生読書室）

：『マンガ論語と孔子』竹川弘太郎作、ももなり高画

(2) 日本語教育学生読書室

：『Haruki Murakami 9 Stories』PMGL漫画、村上春樹原作

＊村上春樹の小説をフランス人アーティストが漫画化

(3) 社会科学部学生読書室

：『光とともに…：自閉症児を抱えて』戸部けいこ

03. 早稲田大学

III. 教員図書室

(1) 坪内博士記念演劇博物館図書室

：『とうめいなやさしさ』 巳年キリン漫画、別役実原作

＊不条理演劇の第一人者である別役実原作の童話を漫画化

：『きのう何食べた？』 よしながふみ

＊16巻まで、2019年ドラマ化・2021年映画化

(2) 国際文学館研究書庫

：『村上春樹の「螢」 ・ オーウェルの「一九八四年」』

森泉岳土漫画、村上春樹・ジョージ・オーウェル原作

03. 早稲田大学

③所蔵されている資料の特徴

- ・ 共通点として、その図書館・読書室が対象とする学生の研究分野に関する漫画と、文庫となっている漫画を収集していることが挙げられる
- ・ 各図書館によって収集基準が異なるのか、漫画資料の所蔵に明確な差が現れた。詳細は④に記述する

④分館、キャンパス、学部の違いに伴う資料の特徴

- ・ 中央図書館は何冊か漫画の所蔵が確認できた。なお漫画は原則収集しないとしているため、何らかの収集理由があると思われる
- ・ 所沢図書館はちくま文庫が出版している漫画のみ収集しており、明確な収集基準がうかがえる
- ・ 戸山図書館は文学部がある戸山キャンパスにあるだけあってか、中央図書館以上の漫画の所蔵が確認できた。文庫に限らず、漫画家の全集や漫画作品の完全版、さらに海外作品の漫画といった一般的な本屋では見かけないような多種多様の漫画を所蔵しており、大学図書館としての機能をはたしているように思える

04. 同志社大学

①マンガの収集基準

マンガに関する記載なし

同志社大学図書館「同志社大学図書館 資料収集方針」

https://library.doshisha.ac.jp/attach/page/LIBRARY-PAGE-JA-135/162056/file/siryo_shushu_2016.02.pdf

(2022年11月11日閲覧)

04. 同志社大学

②所蔵されているマンガ（各学部研究室の蔵書もOPACで管理されているため、それに従い以下では分類する）

1. 社会学部

『ケン1探偵長』 手塚治虫

『秘密指令第3号』 手塚治虫

『光：長編冒険探偵漫画』 手塚治虫

『サボテン君』 手塚治虫

『ひょうたん駒子：長編痛快漫画』 手塚治虫

『新寶島：冒険マンガ物語』 酒井七馬原作、手塚治虫作画

『ジャングル大帝：漫画少年版』 手塚治虫

『青い花びら』 松本零士

『こがらし剣士』 白土三平

『マキの口笛』 牧美也子

04. 同志社大学

II. 文学部文化史

『チェーザレ：破壊の創造者』 惣領冬実

『チ。：地球の運動について』 魚豊作

『アドルフに告ぐ』 手塚治虫

『ホークウッド』 トミイ大塚

『ヴラド・ドラクラ = Vlad Drăculea』 大窪晶与

『片喰と黄金』 北野詠一

III. 神学部

『夕凧の街桜の国』 こうの史代

『聖 (セイント) おにいさん』 中村光

04. 同志社大学

IV. 文学部美学芸術

『冒険狂時代；ピピちゃん』 手塚治虫

『ケン1探偵長』 手塚治虫

『銀河少年：手塚治虫少年漫画作品集』 手塚治虫

『サボテン君』 快傑シラノ

『旋風Z・ハリケーンZ』 手塚治虫

V. 文化情報学部

『東西妖怪図絵』 水木しげる

04. 同志社大学

VI. グローバル地域文化学部

『朝鮮海峡の荒波／三夢伝』 久松文雄画、李学仁原作

『史上最大の戦乱／三夢伝』 久松文雄画、李学仁原作

『大陸風の恋歌／三夢伝』 久松文雄画、李学仁原作

『戦国に見た夢／三夢伝』 久松文雄画、李学仁原作

04. 同志社大学

③所蔵されている資料の特徴

- ・他のマンガとは異なり、美学芸術に関する資料が配架されている場所に手塚治虫の作品が配架されていた
→メディア芸術としての手塚治虫作品が評価をうけているため
- ・「マンガでわかる」シリーズは分類番号726.1ではなく、作品の主題に沿った分類がされている
- ・単行本は少ない

04. 同志社大学

③所蔵されている資料の特徴

- ・ 歴史、古典文学などの漫画が多い

→しかし、世間一般的に「娯楽マンガ」と分類されるようなものとはやはり冊数は少ない(同志社大学図書館の蔵書内に含まれる「娯楽」系統>「教養」系統)

- ・ あくまでマンガは分かりやすく理解してもらうための副次的な役割として考えられている？

(所謂学習マンガは、他媒体と比べ研究結果の更新をするには手間暇がかかる。特に歴史学においては顕著。よって、最新研究にはむいていない)

- ・ やはり、学術的理由によるマンガの設置と言えども、その範囲や効果は限定的なもので、最新のものを入荷する必要性に乏しいと思われる。これは他大学にもある程度共通していると思う

【備考】 OPAC検索画面上でも一部の図書に「人気図書」のマーク (表示) アリ

04. 同志社大学

④分館、キャンパス、学部の違いに伴う資料の特徴

- ・所蔵されているのは、社会学部、文学部などの文系系統に関するマンガ資料に限られており、マンガ資料の学術的利用の効果は一部の学部にのみ適応されている

- ・社会学に関する資料が多い
→手塚治虫や水木しげるなどといった社会学、社会史、文化史などで研究されている作家の漫画が多い

- ・ただ、神学部があるとはいえ手塚治虫『ブツダ』が英語版しかない(つまり研究のためではない?)等、社会学部など一部の学部にはしか応用できないマンガ資料しかないと思われる

- ・文学部文化史の資料は歴史上を舞台としたものが多い

05. 明治大学

①マンガの収集基準

以下のものは選定対象としない。ただし、授業などで学習上必要とする場合は、教員などの専門家の意見を参考にして選定対象とする。

(7) 漫画、絵本および児童書などの若年層向けのもの（明治大学「規程集」
〈<https://www.meiji.ac.jp/library/about/regulation.html>〉（2022年11月13日閲覧））

05. 明治大学

②所蔵されているマンガ

1. 生田館（理工学部・農学部）

『歴史劇画大宰相』 さいとうたかを 『総員玉砕せよ！』 水木しげる

『また!女のはしより道』 伊藤理佐

『先生と僕：夏目漱石を囲む人々』 香日ゆら

『ただいま収蔵品整理中!：学芸員さんの細かすぎる日常』 鷹取ゆう

『マリコ、うまくいくよ』 益田ミリ 『老境まんが』 山田英生

『石ノ森章太郎コレクション』 石ノ森章太郎 『現代マンガ選集』 シリーズ

『赤塚不二夫のだめマンガ』 赤塚不二夫

『ハモニカ文庫と詩の漫画』 山川直人

『林静一コレクション：又吉直樹と読む』 林静一

『つげ忠男コレクション：吉田類と読む』 つげ忠男

『楠勝平コレクション：山岸涼子と読む』 楠勝平

05. 明治大学

II. 中野館（国際日本学部・総合数理学部）

- 『スヌーピー』 チャールズ・M.シュルツ 『現代マンガ選集』 シリーズ
『できるかなゴーゴー!』 西原理恵子 『ペコロスの母に会いに行く』 岡野雄一
『つけ義春：名作原画とフランス紀行』 つけ義春、つけ正助、浅川満寛
『漫画と訳文』 岡本一平、名取春仙、仲田勝之助
『長距離漫画家の孤独』 エイドリアン・トミネ著、長澤あかね訳
『書痴まんが』 山田英生
『リ・アルティジャーニ:ルネサンス画家職人伝』 ヤマザキマリ
『母がしんどい』 田房永子
『釣りキチ三平の夢：矢口高雄外伝』 藤澤志穂子
『台湾の少年』 游珮芸、周見信作、倉本知明訳
『Manga yokai stories : ghostly tales from Japan』 Lafcadio Hearn
『博論日記』 ティファンヌ・リヴィエール作、中條千晴訳

05. 明治大学

III. 中央館（文系学部3・4回生）

『マッドジャーマンズ：ドイツ移民物語』 ビルギット・ヴァイエ著、山口侑紀訳

『古本乙女の日々是口実』 カラサキ・アユミ

『漫画と訳文』 岡本一平、名取春仙、仲田勝之助

『ペコロスの母に会いに行く』 岡野雄一

IV. 和泉館（文系学部1・2回生）

『働く、働かない、働けば』 巳年キリン

『なんで私が適応障害!?: 暗闇の中で光を見つけた私。』 乃樹愛

『ペコロスの母に会いに行く』 岡野雄一

『リ・アルティジャーニ：ルネサンス画家職人伝』 ヤマザキマリ

『つけ義春：名作原画とフランス紀行』 つけ義春、つけ正助、浅川満寛

05. 明治大学

③所蔵されている資料の特徴

- ・ 確認できたマンガ資料のうち、NDLC10:726.1のものは84冊（その内ちくま文庫のものが22冊、スヌーピーの全集が25冊）であった
- ・ ちくま文庫のものは著名なマンガ作家の作品集や過去の作品の選集ばかりであった
- ・ 一冊の本に複数の分類記号が付与されていることがある

05. 明治大学

④分館、キャンパス、学部の違いに伴う資料の特徴

- ・ NDLC10:726.1のマンガの多くは理工学部・農学部の学生が通う生田館に所蔵されており、先に挙げた84冊のうち45冊は生田館に所蔵されている
- ・ 国際日本学部・総合数理学部の学生が通う中野館では21冊のマンガの所蔵が確認できた
- ・ 文系学部の1・2回生が通う和泉館では5冊、3・4回生が通う中央館には4冊しか所蔵が確認できず、キャンパスごとにマンガ所蔵の偏りが見られた

05. 明治大学

④分館、キャンパス、学部の違いに伴う資料の特徴

- ・明治大学は現代マンガ図書館を運用しており、そこでは漫画雑誌や少年漫画・少女漫画が収集されている。所蔵雑誌の一覧は（明治大学「蔵書検索」〈<https://www.naiki-collection.jp>〉（最終閲覧2022年11月16日））で確認できる。

- ・現代マンガ図書館で所蔵されている資料のうち、単行本のものは1927年出版『漫画物語軽飛軽助』が、雑誌は団々社の『团团珍聞』1896年5月23日号が最も古いものであった

- ・その他の図書館の資料では、単行本は20世紀前半に活躍していた漫画家北沢楽天の漫画集が、雑誌は1845～1924年に刊行されていた『Fliegende Blätter』が最も古いものであった

- ・多くの漫画雑誌が1950年代以降の創刊であることをふまえると、かなり古い漫画も所蔵していると言える

06. 立命館大学

①マンガの収集基準

III. 学習用資料の収集方針と収集基準

3. 非収集資料の例示

次のようなものは収集しない。ただし、シラバスで指定された教科書、参考書はこの限りではない

(中略)

2. マンガ類 (全集・叢書に含まれるものを除く)

立命館大学図書館「図書館資料収集の基本方針と収集基準」

〈<https://www.ritsumeai.ac.jp/lib/f03/020/>〉 (2022年11月13日閲覧)

06. 立命館大学

②所蔵されているマンガ（シラバス記載情報は2015-2022年、2022年9月12日確認）

☆複数キャンパス

【教科書・参考書指定】

『夢十夜』 近藤ようこ漫画、夏目漱石原作（衣笠、APU、OIC）

【教科書・参考書指定なし】

『桜の森の満開の下』 近藤ようこ漫画、坂口安吾原作（APU、OIC）

『マンガ最高の戦略教科書孫子』 守屋淳著、星野卓也シナリオ、anco作画（BKC、OIC）

『漫画坊っちゃん』 『漫画吾輩は猫である』 近藤浩一路（衣笠、BKC、APU、OIC）

※教科書としての記載はないが、複数の講義内で資料としての扱いはあり。

↓以下ちくま文庫

『ビブリオ漫画文庫』 山田英生編（衣笠、BKC、APU）

『ハモニカ文庫と詩の漫画』 山川直人（衣笠、BKC、APU）

『石ノ森章太郎コレクション』 SF傑作選・ファンタジー傑作選・初期少女マンガ傑作選、石ノ森章太郎（衣笠、BKC、APU、OIC）

『赤塚不二夫のだめマンガ』 赤塚不二夫著、杉田淳子選（衣笠、BKC、APU、OIC）

06. 立命館大学

1. 衣笠キャンパス（法学部、産業社会学部、国際関係学部、文学部、映像学部）

【教科書・参考書指定】

『五色の舟』 近藤ようこ漫画、津原泰水原作

【教科書・参考書指定なし】

『健康で文化的な最低限度の生活』 柏木ハルコ

『ひな子ちゃん「旅路」』 永島慎二

『星よきえないで』 松本零士

『マンガ日本の経済』 石ノ森章太郎、島本和彦原作

『マンガ国際金融』 光石正人

『ハウルの動く城』 アニメージュコミックススペシャル・フィルムコミックス、宮崎駿 ※漫画版の参考書としての記載はなし。作品自体は複数の講義内で取り上げられている

06. 立命館大学

II. びわこ・くさつキャンパス (BKC) (経済学部、スポーツ健康科学部、食マネジメント学部、理工学部、情報理工学部、生命科学部、薬学部)

【教科書・参考書指定なし】

『物理化学』 齋藤勝裕・川俣純共著、ZENZO→&はやのん理系漫画制作室マンガ制作

『沢村さん家のこんな毎日』 益田ミリ

III. 大阪いばらきキャンパス (OIC) (経営学部、政策科学部、総合心理学部、グローバル教養学部)

【教科書・参考書指定】

『家裁の人』 毛利甚八、魚戸おさむ、山崎司平

【教科書・参考書指定なし】

『天国ニヨーボ』 須賀原洋行

『まんがクラスメイトは外国人』 シリーズ、「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会編

06. 立命館大学

IV. 立命館アジア太平洋大学 (APU)

【教科書・参考書指定なし】

『ベルサイユのばら』 『栄光のナポレオン：エロイカ』 池田理代子

『タウンボーイ』 ラット著、左右田直規訳

V. 国際平和ミュージアム (衣笠キャンパス、図書館運営別)

『戦争は女の顔をしていない』 小梅けいと作画、スヴェトラナ・アレクシエー
ヴィチ原作

『この世界の片隅に』 こうの史代

『はだしのゲン』 中沢啓治

『風の谷のナウシカ』 宮崎駿

06. 立命館大学

③所蔵されている資料の特徴

- ・確認できたマンガ資料は下記の通りであった
 - i. シラバスで指定された教科書・参考書
(『夢十夜』 近藤ようこ漫画 夏目漱石原作、『マンガで学ぶ生命倫理』 児玉聡著 なつたか漫画 等)
 - ii. 教員から要望があった研究用資料 (『健康で文化的な最低限度の生活』 柏木ハルコ、『天国ニヨーボ』 須賀原洋行 等)
 - iii. 文庫新書をシリーズで購入する際に紛れたもの (『マンガ最高の戦略教科書孫子』 守屋淳著 星野卓也シナリオ anco作画 等)
- ・統一した検索条件からは外れるため②には記載しなかったが、BKCには「マンガでわかる」シリーズの所蔵が多かった

06. 立命館大学

④分館、キャンパス、学部の違いに伴う資料の特徴

- ・各キャンパスの学部で扱う内容に沿って所蔵されているが、なかにはシリーズで購入しているため、主題分野の違うマンガが他キャンパスに紛れているものもあった（BKC『まんがとあらすじでわかる古事記と日本書紀』等）
- ・APUにのみ、マレーシア作家のマンガが所蔵されていた。キャンパスの特性から、留学生に向けた海外作家のマンガや、翻訳作品が多く所蔵されていると考えられる。
- ・関連施設である立命館大学国際平和ミュージアムには、平和を主題とした漫画資料を多数所蔵。図書館OPACで検索可能だが、管轄は別とされている

【まとめ】立命館大学図書館は、あくまでも利用者の学術研究活動の基盤として、学びに役立つ漫画資料を収集している

07. 中央大学

①マンガの収集基準

I. 一般基準

30. 非収集図書

e) 評価が確定していない児童図書、絵本、漫画など

※I.14a：中央図書館では、次の文庫、新書を全巻収集する。これら以外のものは選択的に収集する。 a) 文庫：朝日、朝日文芸、ちくま、中公、岩波、岩波現代、講談社文芸、講談社英語、講談社学術、クセジュ、新潮、日経

II. 主題別基準

7門 3. 漫画 (726)

【研究教育用図書】

古典としての評価が定まっていて、史料価値のあるものに限って収集する。

【学習用図書】

次にももの限って収集する。

a) 漫画史上の傑作として定評のあるもの。

b) 一括購入する文庫 [(I.14a)を参照] に収録されているもの。

07. 中央大学

②所蔵されているマンガ

※中央図書館・国際機関資料室・仏文研究室・中国言語文化研究室は多摩キャンパスに所在。

(法学・経済学・商学・文学・総合政策・国際経営)

【中央図書館（分類標目NDC9:726.1）】

『はだしのゲン』1-10、中沢啓治

『ヘイ!マスター』上村一夫

『テロルの系譜：日本暗殺史』かわぐちかいじ

『マンガ中国の歴史』1-6、陳舜臣,手塚治虫監修

『地獄小僧』日野日出志

『ダンドリくん上・下』泉昌之

【中央図書館（分類標目NDC10:726.1）】

『命がけの証言』清水ともみ

『草：日本軍「慰安婦」のリビング・ヒストリー』キム・ジェンドリ・グムスク著；都築寿美枝,李昡京訳

『重版未来：表現の自由はなぜ失われたのか』川崎昌平

『働く、働かない、働けば』巳年キリン

07. 中央大学

【国際機関資料室・社会情報研究室】

『Zenobia (ゼノビア)』 モーテン・デュアー文、ラース・ホーネマン絵、荒木美弥子訳

『北欧女子オーサのニッポン再発見ローカル旅』 オーサ・イエークストロム

『北欧女子オーサが見つけた日本の不思議』 1-5、同上

『漫画君たちはどう生きるか』 吉野源三郎原作、羽賀翔一漫画

【中国言語文化研究室・仏文研究室】

『劇画毛沢東伝』 藤子不二雄A

『中国嫁日記』 1-7、井上純一

『千年の翼、百年の夢 : les gardiens du Louvre』 谷口ジロー

『ルーヴルの猫 = Les chats du Louvre』 上下巻、松本大洋

07. 中央大学

③所蔵されているマンガの特徴

【分類標目NDC9:726.1】

- ・ 確認できたマンガ資料91件
- ・ 「中央大学図書館収書方針－館長運用図書予算－」の収集基準に従って収集されている

【分類標目NDC10:726.1】

- ・ 確認できたマンガ資料7件（分類標目NDC9:726.1と重複しているものは除く）
- ・ 比較的最近に出版されたマンガ資料である

07. 中央大学

④分館、キャンパス、学部の違いに伴う資料の特徴

- ・ 文系の学部がある多摩キャンパスの図書館にマンガが多数所蔵されている
- ・ 国際機関資料室・仏文研究室・中国言語文化研究室に所蔵されているマンガは「中央大学図書館収書方針－館長運用図書予算－」に該当しない図書も存在するが、各資料室の収集基準に該当している

08. 関西学院大学

①マンガに関する収集基準
→初めに調査した段階ではなし

②所蔵されているマンガ・配架場所例

【図書】

- ・『命がけの証言』 清水ともみ
- ・『傷ついた子を救うために』 宮口幸治
- ・『まんがで知る デジタルの学び：ICT教育のベースにあるもの』 前田康裕
- ・『マンガで学ぶ感染症』 岩田健太郎
- ・『現代漫画大観』 シリーズ
- ・『僕はアスペルガー症候群』 長谷川知子

【新書文庫】

- ・『よちよち文藝部』 久世番子
- ・『彼らの犯罪』 樹村みのり
- ・『マリコ、うまくいくよ』 益田みり
- ・『ハルコロ1・2巻』 石坂啓, 本多勝一
- ・『沢村さん家のこんな毎日』 益田みり
- ・『まるごと腐女子のつづ井さん』 つづ井
- ・『鬼子母神：自選作品集』 山岸涼子

08. 関西学院大学

【新聞書評掲載図書】

- ・ 『サブリーナ』 ニック・ドルソナ,藤井光
- ・ 『スナックキズツキ』 益田みり
- ・ 『戦争は女の顔をしていない』 小梅けいと
- ・ 『鬼滅の刃 幾星霜を煌めく命』 吾峠呼世晴
- ・ 『つけ義春：「ガロ」時代』 正津勉
- ・ 『世界がどんなに変わっても』 (未記載)
- ・ 『マウス：完全版：アウシュヴィッツを生きのびた父親の物語』 スピーゲルマン,小野耕世
- ・ 『ピノ:Pino』 村上たかし

【教員推薦図書】

- ・ 『ハルコロ,1巻(1999)2巻(1993)』 石坂啓,本多勝一
- ・ 『マンガで読む発酵の世界:微生物たちが作り出すおいしさと健康の科学』 黒沼真由美
- ・ 『マンガでわかる戦後ニッポン』 手塚治虫他
- ・ 『健康で文化的な最低限度の生活 1巻』 柏木ハルコ
- ・ 『アドルフに告ぐ 新装版 1～4巻』 手塚治虫
- ・ 『親なるもの断崖』 曾根富美子

08. 関西学院大学

※請求記号について

マンガの図書は、NDCにおいては基本的に726.1に分類される。しかし、関西学院大学図書館の蔵書の分類は、NDCを採用していない。和漢書、洋書共にデューイ十進分類法(DC)によって分類されている。そして、当館の現行の分類表はDC16版(1958年刊)を骨格として、日本の大学図書館に適合するよう改変されている。したがって、マンガを探す場合、NDCの請求記号では検索できない。

*所蔵されているマンガを調査するにあたっては、次の2通りで検索した。

(1)CiNii Booksにて「分類726.1、図書館ID」(2)OPACのキーワード欄「漫画」
「マンガ」「まんが」「コミック」

08. 関西学院大学

※マンガの収集基準について（問い合わせ結果）

担当者に問い合わせたところ、以下の回答を得た。

「予算制約もあり、通常は収集対象とはしてない。ただし、教員が選定する学生の読書用の「教員推薦図書」や授業のための「指定図書」、および、特定コーナーや大学の他部署とのコラボ企画で展示図書となる場合、また学部予算で選定される専門分野研究・教育用の資料の中に漫画が混在することもあり、結果的に若干数の漫画が収集されている。」

08. 関西学院大学

③所蔵されている資料の特徴

所蔵されているマンガの種類は幅広い。また図書コーナーに配架されているマンガについては、その分野に合わせた請求記号が付与されている

④分館、キャンパス、学部の違いに伴う資料の特徴

・基本的に各キャンパスに属する学部に沿った漫画資料が収集されているが、展示コーナーのマンガには複数キャンパスにまたがって配架されているものも見受けられる

→マンガの学習・研修活用はどのキャンパス・学部でもある程度は期待できる。

大学図書館の比較を受けて

- 収集基準について

- 選書は職員の主観によるところがあるのではないか
(中央大学図書館の収集基準「漫画史上の傑作として定評のあるもの」等)

- マンガの収集基準が明確に示されている大学は少ない

→マンガに関して明言していない図書館では、マンガをマンガというカテゴリーではなく、作品個々の主題で収集の是非を判断しているのではないか

大学図書館の比較を受けて

- 各大学図書館の所蔵マンガとその特徴を見て
- 手塚治虫の作品は複数冊が所蔵され、各学部に置かれていることが多い
- 手塚治虫や水木しげるなどの著書は、その所蔵館の多さから名著と認識されていることが伺える
- 芸術学部がある学校はマンガの所蔵が多い
- 文庫の一斉購入による所蔵は多くの大学に見られる
- 必ずしも文学部があるキャンパスにマンガが多いわけではない
- 古典文学のマンガ版、戦争が主題のマンガはよく所蔵されている
- ある程度学部での研究内容に沿った内容のマンガが所蔵されている傾向がある
- マンガ全集は文系学部に所蔵されている傾向がある
- 傾向として、所蔵されているマンガの最古典は手塚治虫によるものが多かった
→資料として認識されているものの多くが手塚治虫作品であると考えられる

大学図書館の比較を受けて

調査の結果、収集基準においてマンガに関する明言がなされていたのは早稲田大学・明治大学・立命館大学・中央大学でした。

明治大学・中央大学はマンガ収集を中心とした施設を備えているため、マンガに関する明言があったと考察できますが、他の2大学で明言されていた点は特徴的であるといえます。

以上の考察を踏まえ、立命館大学図書館にマンガに関する明言があったことに着目しました。そこで、次章からは、実際に立命館大学図書館職員の方に伺ったお話をまとめます。